

VG 槻輪だより

会報 第221号

発行日 令和5年2月1日

発行・編集 VG 槻輪

代表者 大岡成一

<http://web1.ibj.co.jp/~kirin>

わがまち紹介 活動報告

歴史と伝統の息づく

“まち”

大阪市天王寺区

四天王寺参拝・散策

1月19日は、大寒の時期ですが、雲一つない快晴でした。

JR 天王寺駅の中央改札に全員集合し、四天王寺に向いスタートしました。

JR 天王寺駅は、出発前に配布した「上町台地 陰影段彩図」でわかる様に上町台地の頂上部にある駅と同じく四天王寺も台地の頂上に近い位置にあります。

熊野街道

上町台地の頂上を熊野街道が走っています。今は谷町筋と言う大きな道路です。大阪の歴史的遺産



上町台地
陰影段彩図

街道は、摂津大坂の渡辺津（江戸時代以後はこの地を八軒屋という）を起点に四天王寺、住吉大社を経て、紀州田辺を



八軒家浜にある
渡辺津記念碑

京からは渡辺津までは淀川を舟で下り、最初の王子・窪津王子へ参拝して熊野へ向かいます。

この街道の両側にあると言っても過言ではないと思います。熊野街道は、京から大坂を経て熊野三山（熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社）への参詣に利用された街道の総称で紀州街道とも呼ばれました。

経て、中辺路または大辺路によって熊野三山へと向かう道筋でした。

天王寺の由来

東成郡天王寺村の一部であったことに由来する。四天王寺を包括する地域を占める村として天王寺村の名が古くから受け継がれてきました。

四天王寺

天王寺の地名の由来となったのが聖徳太子建立の「四天王寺」で、その歴史は6世紀末にさかのぼります。この寺は単なる寺院ではなく、「四天王寺七宮」という外護の神社群と、「四箇院（しかいん）」と呼ばれる施設を備えていた。「四箇院」は仏法修行の道場である「敬田院」・四天王寺・四天王寺学園。病者に薬を施す「施薬院」・薬局。病者を収容し、病気を癒す「療病院」・四天王寺病院。身寄りのないものや年老いたものを収容する「悲田院」・四天王寺福祉事

参拝の順序

今回は、上町台地と四天王寺の位置関係を理解するために熊野街道を通り、石鳥居、そして極楽門から四天王寺の伽藍に入りました。



極楽門を背景に記念写真

本来の入門は、南大門から入るのが正道ではないかと思っています。なぜなら、仏様が全て南を向いている事からもわかるように、南大門からお参りするのが正しいと思います。現在は、参拝者の利便性を考えてか、伽藍に入りするのは西重門となっています。



南大門から入ると、「中門（仁王門）」、「五重塔」、「金堂」、「講堂」と一直線に並び、回廊が囲んでいます。これが有名な「四天王寺式伽藍配置」です。

四天王寺に来たら、中心伽藍は見ておきたいと思い、まず伽藍に入りました。次に六時堂は、建物が戦災でも残り、重要文化財です。丁度礼拝の時間に参拝させて頂きました。

帰路は、南大門より南へ約2百メートルの「四天王寺庚申堂」を参拝しました。

※参加者に事前に配布したガイドブックのQRコードです。



2023年2月 わがまち紹介

まちの真ん中に自然を感じる：元茨木川緑地 元茨木川緑地梅園・桜通り散策

月 日：2023年2月16日(木)
集合場所：大阪モノレール沢良宜駅改札出口 集合
内 容：元茨木川緑地梅林鑑賞・桜通り散策
そ の 他：詳細は別途配布資料を参照下さい。

2023年3月 わがまち紹介

京都の代表的な景勝地：京都市右京区 梅宮大社参拝・散策

月 日：2023年3月16日(木)
集合場所：阪急松尾大社駅 西改札出口 集合
訪 問 先：梅宮大社参拝・散策
そ の 他：詳細は別途配布資料を参照下さい。